

ラベルニュース

東京都ラベル印刷協同組合

☎111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4

No.368

平成 27 年 3 月号

編集:広報・情報システム委員会

TEL(3866)4561 FAX(5821)6443



技術・環境対策委員会主催

岩通製ラベルマイスターの実演を

大東マーク工業で組合員二〇名参加

技術・環境対策委員会(高橋邦浩委員長)主催の技術研修会が、二月十三日(金)午後四時より、墨田区の大東マーク工業の本社工場で開催され岩崎通信機の「デジタル印刷機ラベルマイスター」の紹介を兼ねたセミナー研修を行い、組合員二〇名が参加しました。

技術研修会は高橋委員 ロジエクターを使いながら長の司会で、初めに販売を「ラベルマイスター EMI」しているリンテックコマー 250W」の説明を行います。菅野氏は初めに同社の

五十年に亘る印刷業界 続いて大東マークの清進出の歴史について説明し、水佳則社長が導入の理由に二〇〇七年にインクジェットについて「当社は工業系のラト技術の応用を開始し、二〇一〇年のラベルフオーラムにデジタル印刷の参考出展をしたことなどを語りました。

そしてラベルマイスターの最大の特徴でもある、白インクを引くことで、隠ぺい性を高め、アイキャッチに抜群の効果を発揮し、いまや白はなくてはならない必須アイテムであることを強調しました。

同機の特徴としては、白インク、スピード、コスト、スペース、メディアフリー、付加価値印刷、長尺・バリアブルなどであるが、新たな特徴として特色指定の色合わせを検討しており、今は色チャートを出し、近似色を探するということから、STARTORに色変換テーブル「スウォッチライブラリー」を持たせ、DICO〇番と特色指定に対し変換を行い、通常通り出力ができる、作業時間の大幅な短縮も可能となったと説明しました。

さらに「導入に関しては、十年前よりインクジェットに携わっていたので抵抗はまったくなく、さらに以前より品質アップやスピードアップが図れた」と語った。

この後、参加者が実際に工場へ移動し、「ラベルマイスター」の稼働を見学し、その印刷の仕上がりとスピードに目を見張りました。

参加者の一人は「予想以上の印刷の出来栄にビックリしました。特に白インクを引くことによってこれだけの印刷効果が得られることに感動しました」と語るなど、他の参加者からも感嘆の声が多く聞かれました。

全日シール主催セミナーを開催

電子写真方式のオンデマンド機と

樹脂凸版による糊塗工技術の説明会

全日本シール印刷協同組合連合会主催のセミナーが、今年も三月六日(金)午後三時より、リンテックの飯田橋オフィスにおいて開催され、組合員・会友、そしてテレビ中継を通して多くの方が参加しました。

今回は第一部として、「電子写真方式によるオンデマンド印刷」として、三起機械と日本ヒューレッドパッカートの二社が参加しました。

三起機械は、デジタルラベル印刷機「SDP-33



満員盛況だった第2回セミナー

として「樹脂凸版による糊塗工技術」について、シール印刷大阪府協同組合の永井謙太良理事長、東洋紡、加貫ローラー製作所、ノーテプ工業、丸昌化学工業がそれぞれの立場で説明しました。

全日主催のセミナーは、昨年に引き続き2回目となったが、今回もテレビ中継されるなど、多くの参加者が注目しました。

第57回年次大会大阪大会

10月9日にヒルトン大阪で開催

「新しい時代に向かって」テーマに



会場となるヒルトン大阪ホテル

全日本シール印刷協同組合連合会(小宮山光男会長)主催の、「第五十七回年次大会大阪大会」は、十月九日(金)に、シール印刷大

阪府協同組合の担当で開催することになり、このほど募集概要が明らかになりました。

それによると今回は十年ぶりの大阪大会となり、くしくも阪神淡路だいしんさいから二十年の節目の年に当たするため、見事に復興した関西を確かめてもらえるような大会にしたいとしています。

このため「新しい時代に向かって」をメインテーマに掲げ、その成果を得るべき行動として、『「笑懸命笑売繁盛」をサブテーマに、大きく生まれ変わった商都の真ん中、大阪梅田で開催します。

今回は大会式典と懇親会が予定されており、懇親会では、梅花女子大学・短期大学チアリーディング部のチアパフォーマンスと、ハワイアン&フラダンスが予定されており、翌日には懇親ゴルフコンペも予定されています。

大阪の組合ではすでに準備に入っており、一社でも多くの参加者を期待しています。

■ 調査目的

中小企業組合の組合情報化に関する実態及び取り組み状況を把握し、効果的な支援を行う際の基礎資料とするため実施した。

組合 (9.1%)、**「小売業」**が多く、次いで、「ノートパソコン」が 647 組合 (52.4%)、

他」が 1 組合 (0.1%) の「サーバー」が 206 組合 (16.7%)、「設置していない」が 67 組合 (5.4%)、「タブレット PC」が 45 組合 (3.6%)、「ワープロ専用機」が 31 組合 (2.5%)、「その他」が 23 組合 (1.9%) の順となっている。

2. 組合の事務局役職員

回答のあった 1237 組合の事務局役職員については、「専従職員」が 769 組合 (62.9%) で最も多く、次に「専従役員」が 435 組合 (35.2%)、「兼務役員」が 430 組合 (34.8%)、「兼務職員」が 261 組合 (21.1%)、「その他」が 110 組合 (7.1%)、「なし」が 44 組合 (3.6%) の順となっている。なお、「その他」としてはパート、アルバイト、派遣などが挙げられている。

今回の調査では全体で約 97% の組合がパソコンを設置しているとの結果になっている。平成 12 年度に本会が実施した事業協同組合実態調査では、約 31% であったことと比較すると、14 年間でパソコンの普及率が飛躍的に伸びている。

4. 組合事務局のパソコン等の導入形態

回答のあった 1198 組合の組合事務局のパソコン等の導入形態については、「組合所有」が 879 組合 (73.4%) で最も多く、次いで、「リース・レンタル」が 230 組合 (19.2%)、「組合員等からの貸与」が 103 組合 (8.6%)、「役員所有」が 64 組合 (5.3%)、「その他」が 41 組合 (3.4%) の順となっている。

「リース・レンタル」にてパソコンを導入している組合のパソコンの平均設置台数は約 11.5 台、「リース・レンタル」を導入していない組合の平均設置台数は約 7.4 台となっており、設置台数の比較的多い組合においては「リース・レンタル」形態を採用する傾向が顕著である。

5. 組合事務局のパソコンの OS

回答のあった 1213 組合の組合事務局のパソコンの OS については、「Windows 7」が 917 組合 (75.6%) で最も多く、次いで、「WindowsXP」が 224 組合 (18.5%)、「Windows 8」が 167 組合 (13.8%)、「Windows Vista」が 127 組合 (10.5%)、「Windows 8.1」が 102 組合 (8.3%)、「設置していない」が 35 組合 (2.9%)、「MACOS」が 21 組合 (1.7%)、「その他」が 14 組合 (1.2%) の順となっている。

1. 組合員の主な業種

回答のあった 1248 組合の主な業種については、「サービス業」が 276 組合 (22.1%) で最も多く、次いで、「製造業」が 245 組合 (19.6%)、「複数業種」が 230 組合 (18.4%)、「卸売業」が 150 組合 (12.0%)、「建設業」が 121 組合 (9.7%)、「運送業」が 113 組合 (9.1%) の順となっている。

3. 組合事務局のパソコン等の設置状況

回答のあった 1235 組合の組合事務局のパソコン等の設置状況については、「デスクトップパソコン」が 938 組合 (76.0%) で最も多く、次いで、「ノートパソコン」が 647 組合 (52.4%)、

「リース・レンタル」にてパソコンを導入している組合のパソコンの平均設置台数は約 11.5 台、「リース・レンタル」を導入していない組合の平均設置台数は約 7.4 台となっており、設置台数の比較的多い組合においては「リース・レンタル」形態を採用する傾向が顕著である。

回答のあった 1213 組合の組合事務局のパソコンの OS については、「Windows 7」以降の OS が主流となりつつある一方、18% 強の組合が「WindowsXP」を使用している。「WindowsXP」は平成 26 年 4 月 9 日をもってマイクロソフト社のサポ

トが終了し、セキュリティ更新プログラムの配布が停止されるなど、セキュリティ機能が脆弱化している。「WindowsXP」パソコンでインターネット接続した場合、不正アクセスの発生等のリスクも懸念されることから、新しいOSへの更新が望まれる。

また、「Windows Vista」にしろしも平成 29 年 4 月 11 日をもってサポートが終了予定であることから更新準備への対応が迫られている。

□ また、「MACOS」については、全体としての導入率は低いものの、印刷関連業や情報処理業の組合では、導入割合が比較的多かった。なお、「MACOS」を使用する大部分の組合では「Windows」系 OS も併用されている。

6. 組合事務局のパソコンの保守・管理担当者

回答のあった 1147 組合

の組合事務局のパソコンの保守・管理（メンテナンス）担当者については、「組合事務局職員」が 505 組合（44.0%）で最も多く、次いで、「購入業者に依頼」が 465 組合（40.5%）、「購入業者以外の業者に依頼」が 169 組合（14.7%）、「その他」が 93 組合（8.1%）、「担当者が不在」が 72 組合（6.3%）の順となっている。

合計 634 組合、約 5 割強の組合がパソコンの保守・管理を外部の業者に依頼している。一方、「組合事務局職員」がパソコンの保守・管理を担当していると回答したのは 505 組合であるが、そのうち約 25%の組合では外部の事業者にも保守・管理を依頼していることから、全体として外部の業者へ依存している割合が多い結果となった。

7. 組合業務におけるパ

ソコンの活用状況

回答のあった 1181 組合の組合業務におけるパソコンの活用状況については、「文書・資料の作成」が 1147 組合（97.1%）と圧倒的多数を占め、次いで「財務・会計管理」が 978 組合（82.8%）、「インターネット閲覧」が 938 組合（79.4%）、「電子メール」が 817 組合（69.2%）、「組合員管理」が 713 組合（60.4%）、「人事・給与管理」が 598 組合（50.6%）、「事業管理（販売、購買、生産、在庫等の管理）」が 514 組合（43.5%）、「ホームページ運用」が 461 組合（39.0%）、「収納・決済業務」が 226 組合（19.1%）の順となっている。

□ 一般的な組合業務である「文書・資料の作成」については、ほぼ全ての組合がパソコンを活用しているほか、「財務・会計管理」「人事・給与管理」「事業管理（販売、購買、生産、在庫等の

管理）」といった財務や

業務の管理、「インターネット閲覧」「電子メール」等のネット利用にしろても活用率は高かった。一方で、「電子商取引」を実施している組合は 81 組合（6.9%）にとどまったほか、「電子申告（e-Tax 等）」や「電子申請（補助金、登記等）」等の活用状況については、それぞれ 4%台とさらに低い結果となった。

□ 回答のあった 1148 組合の組合業務で利用しているソフトウェアについては、「ワープロ・表計算」が 1010 組合（88.1%）で最も多く、次いで「財務会計」が 761 組合（66.3%）、「給与計算」が 333 組合（29.0%）、「データベース」が 286 組合（24.9%）、「売上・受注・生産管理」が 281 組合（24.5%）、「ホームページ作成」が 262 組合

（22.8%）、「プレゼンターシモン」が 163 組合（14.2%）、「画像作成編集」が 133 組合（11.6%）、「その他・各種プログラミングソフト」が 50 組合（4.3%）、「CAD（設計・製図）」が 32 組合（2.8%）の順となっている。

□ 購入時にパソコンにプレインストールされていることも多い「ワープロ・表計算」ソフトの導入割合が最も多かった。業務管理用ソフトでは「財務会計」の割合が多く、「給与計算」「売上・受注・生産管理」「データベース」などが続き、設問 7 の「組合業務におけるパソコンの活用状況について」の結果を裏付けている。

9. 組合が情報化を推進する目的

回答のあった 1148 組合の組合が情報化を推進する目的については、「業務の効率化」が 1066 組合（92.9%）で最も多く、次いで「経費の削減」が 589 組合（51.3%）、「情報収集能力強化」が 515 組合

（44.9%）、「情報発信力強

化」が 387 組合 (33.7%)、
「組合・組合員の P R」が
346 組合 (30.1%)、 「電子
入札への対応」が 116 組合
(10.1%)、 「組合・組合員
製品の販路拡大」が 103 組
合 (9.0%)、 「危機管理・ B
C P 対策」が 35 組合
(3.0%)、 「その他」が 14
組合 (1.1%) の順となつて
いる。

大多数の組合において
は、「業務の効率化」や「経
費の削減」といった業務改
善を情報化の第一義的な目
的としている。この他、「情
報収集能力強化」は約 4 割、
「情報発信力強化」、「組
合・組合員の P R」につい
ては各々約 3 割の組合から
回答があり、前者に加えて
組合が情報の受発信機能の
強化にも重点を置いている
ことが伺える。□

※ 中央会の調査報告書よ
り抜粋しました。

10. 組合事務局パソコン のインターネット接続状況

回答のあった 1149 組合
のインターネット接続状況
については、「光回線」が
859 組合 (74.8%) で圧倒
的に多く、次いで「ADSL」
が 132 組合 (11.5%)、 「イ

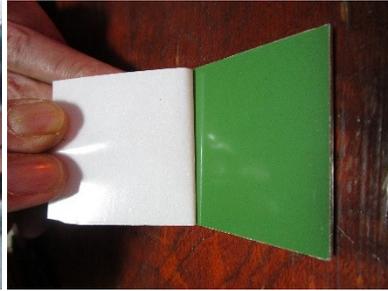
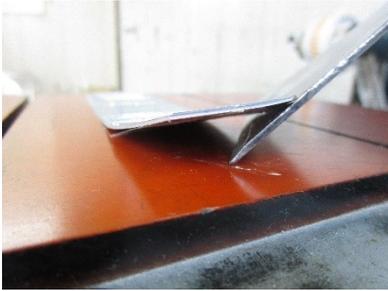
ンターネットに接続してい
ない」が 56 組合 (4.9%)、
「ISDN」が 37 組合
(3.2%)、 「専用線」が 32
組合 (2.8%)、 「CATV」が
22 組合 (1.9%)、 「その他」
が 11 組合 (1.0%) の順と
なっている。□

サービス開始時には利
用料金が高額であった「光
回線」も、通信速度の速さ
と料金の引き下げにより大
きく普及が進んだと考えら
れる。また、今回の調査で
は合計で約 95% の組合が
インターネットへの接続を
行っているという結果とな
った。

丸伸製作所(京都市山科区西野山射庭の上町三〇七の二六 〇七五―五八三―五一一五)では、このほど「リピタット」を発売しました。

「リピタット」は、貼りや輪転式印刷機や平圧式印刷機の印刷樹脂版や印刷金属版や抜き型を固定するま

画期的な両面接着テープ「リピタット」



直しができる強力両面接着テープで版に糊が残らない

シリンダーに糊が残らない、ヤープな印刷に向いており、金属版の裏面に糊が残らないなど、これまでの版止め両面テープの欠点を解消しました。

このためもう一度貼り替えが可能で、空気が入りにくい、伸縮性ゼロという大きな特徴があります。

この他にも、細かく切つて耳止めテープに、剥がしやすく、糊残りが少ないので、跡の手入れが大変楽になります。耐水性、対溶剤性、耐熱性にも優れています。

「リピタット」の仕様は次の通り。

リピタット130は、二〇〇mm幅、三十二m巻、一三〇mm厚。

紙厚は九〇mmと一一〇mm、紙幅は一〇〇mm幅と一五〇mm幅があります。

リピタット130は一般印刷用から文字量、ベタ、アミの多い印刷に向いており、薄手のリピタット110と90は細かな表現やシ

用途に応じた使い分けができます。

同社ではこの他にガラスクロスにフッ素樹脂コーティングを施し、刃型に付着するノリがつかなくなる「フローテープ」(肌色テープ)があるが、これはスポンジやゴムを貼った上に貼るもの。

また、ラベル印刷機(平圧タイプ)の版、抜き型固定用両面テープの「クラッチテープ」(特許出願中)もあり、特徴としては、

①剥がれやすい紙を芯材にした両面テープなので貼り付け作業の手間が一度ですむ。芯材の紙が剥がれるので、版や抜き型を外し易い。

②剥がす際に糊残りが少ない再剥離接着剤を使用。

③両面テープを2枚使う必要がないので、コストを削減できる。

ご不明な点は、お気軽に

お問い合わせ下さい。